



三行脈が目立つ。



壮大に大きくなる。



短冊状に割れ目。

区別のポイント

葉は三行脈で脈の分岐点に小孔や虫えいが生じる。木全体に香りがある。

形態 常緑高木。樹皮は短冊状にやや深い割れ目がある。

分布 本州（関東地方以西）・四国・九州

名前の由来 奇木（くすしき）からの転化（樟脳ができる不思議な木）。

- 葉** **〈全体〉**卵形または楕円形で長さ5～12 cm。
〈付き方〉互生。
〈葉柄〉長さ2.5～3.5 cm。
〈基部〉広いくさび形または円形。
〈葉先〉鋭尖頭。
〈縁〉全縁で波打つ。

備考 匂い成分。葉に樟脳（カンファー）を含む。

出典 1